

※令和6年度研修の再配信です※

令和6年度北海道高齢者虐待防止推進研修会開催要綱 【施設編】・【在宅編】（オンデマンド研修）

- 1 目 的
「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」の施行により、高齢者支援の現場においては高齢者虐待の防止についての適切な対応や支援等の取組みが求められています。
本研修会は、高齢者虐待の相談、防止、支援等の職務に従事する職員を対象に、高齢者虐待に関する理解と認識を深め、施設内及び在宅における高齢者虐待対応や虐待を防止するシステムづくりを学ぶことを目的に開催します。
- 2 主 催
社会福祉法人北海道社会福祉協議会 北海道高齢者虐待防止・相談支援センター
- 3 開催形式
オンライン（オンデマンド配信）
- 4 参加対象
(1)施設編
社会福祉施設等職員（養護老人ホーム・特別養護老人ホーム・軽費老人ホーム・有料老人ホーム（※サービス付き高齢者向け住宅含む）・老人保健施設・介護療養型医療施設・介護医療院・認知 症高齢者グループホーム等）、訪問介護事業所職員、訪問看護事業所職員、通所介護事業所職員、振興局高齢者虐待防止担当職員、市町村高齢者虐待防止担当職員、医療機関職員
(2)在宅編
振興局高齢者虐待防止担当職員、市町村高齢者虐待防止担当職員、地域包括支援センター職員、医療機関職員、在宅介護支援センター職員、居宅介護支援事業所職員、訪問介護事業所職員、訪問看護事業所職員、通所介護事業所職員、民生委員、警察関係高齢者虐待防止担当職員、その他一般
- 5 配信期間
令和7年2月10日（月）～ 2月28日（金）
※期間中であれば何度でも視聴することができます。
- 6 申込期間
令和6年12月23日（月）～ 令和7年1月15日（水）
- 7 参 加 費
各研修1事業所あたり6,000円（事前振込み）
※施設編、在宅編それぞれの申込ごとに参加費が発生します。
- 8 受講決定
令和7年1月20日（月）までにご連絡いたします。
- 9 振込期限
令和7年1月30日（木）まで
※受講決定通知にて、研修費用の振込先をお伝えいたします。
- 10 研修資料
「研修用動画配信システム」内にPDF形式で掲載いたします。受講時に資料をご覧になる際は、ダウンロードし、印刷等によりお手元にご用意ください。

11 プログラム（※施設編、在宅編それぞれ研修ごとに申込が必要となります。）

施設編(オンデマンド研修) ※令和6年8月26日(月)～9月13日(金)に配信した内容と同一です。	
時 間	内 容
65分	講義1「施設における高齢者虐待の防止について」 高齢者虐待防止法について再確認した上で、施設内での虐待や不適切ケアを防止するために必要な取り組みについて学びます。 講師：神部 健史 氏（社会福祉法人北海長正会 北広島リハビリセンター特養部四恩園 施設長／北海道高齢者虐待防止推進委員会 委員）
60分	講義2「身体拘束の廃止とケアの実践に向けて」 身体拘束廃止について理解を深め、施設における身体拘束廃止と予防に向けた実践方法について学びます。 講師：長谷川 美栄子 氏（社会福祉法人愛全会 高齢者総合福祉施設サン・グレイス 施設長）
120分	講義3「認知症ケアから考える高齢者虐待防止の視点」 高齢者虐待の発生には、職員の認知症に対する知識や理解不足が関係する事例が多くあります。ここでは、ここでは、認知症ケアのあり方について再認識し、虐待や不適切なケアを防止するための方策を考えます。 講師：宮崎 直人 氏（有限会社グットライフ 代表取締役・総合施設長）

在宅編(オンデマンド研修) ※令和6年9月30日(月)～10月18日(金)に配信した内容と同一です。	
時 間	内 容
50分	講義1「高齢者虐待防止法の理解」 高齢者虐待防止法のうち、主に養護者による高齢者虐待について法的理解を深めます。 講師：石塚 慶如 氏（ゆいと法律事務所 弁護士）
95分	講義2「養護者による高齢者虐待防止の視点と対応について」 高齢者虐待対応の流れや対応について理解を深めるとともに、養護者による高齢者虐待を未然に防ぐために必要な専門職としての視点を学びます。 また、養護者支援のあり方や、高齢者の虐待対応を行うそれぞれの専門職が担うべき役割について考えます。 講師：大島 康雄 氏 （北海道介護支援専門員協会 会長／星槎道都大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授）

12 申込方法

(1)研修申込先

北海道社会福祉研修所の研修受付システム【<https://dosyakyou.sakura.ne.jp/kenshu/my/myLogin.php>】にログインし、お申込みください。お申込みが完了しましたら、申込確認メールが自動送信されます。

なお、北海道社会福祉研修所の研修受付システムに未登録の事業所につきましては、以下の「①研修受付システムの登録申請について」をご確認の上、ユーザ登録申請をお願いいたします。

① 研修受付システムの登録申請について

研修受付システムが未登録の事業所は、以下の URL よりユーザ登録申請をお願いいたします。

【<https://dosyakyou.sakura.ne.jp/kenshu/my/myOfficeInfoInst.php>】

○ユーザ登録申請後、登録したメールアドレスに、「研修受付システム仮登録受付書」が送信されます。

○概ね5日程度で、「受付システム登録承認及び利用に係る ID・パスワードのお知らせ」がメールで送信されます。

○ユーザ登録申請画面の下部に記載されている電話番号へのご連絡はお控えください。ご不明点等ございましたら、北海道社会福祉協議会権利擁護課（電話 011-241-3978）までご連絡ください。

（ユーザ登録申請画面）

② 研修受付システムにおける申込の流れ

（ログイン画面）

① 上記に記載の URL から社会福祉研修所研修受付システムのログイン画面に入り、ユーザIDとパスワードを入力してください。

（ユーザ用画面）

② ユーザ用画面にある「研修受講申込・変更等」をクリックしてください。

（申込研修一覧画面）

③ 申込可能な研修の一覧が表示されます。最下部に、「北海道高齢者虐待防止推進研修会」が表示されておりますので、受講を希望される研修名（施設編または在宅編）をクリックしてください。

（研修申込画面）

④ 研修申込画面が表示されます。「研修受講申込フォーム」をクリックしてください。

（研修受講申込フォーム）

⑤ 「研修受講申込フォーム」が表示されたら、研修を受講される方の氏名等を入力してください。入力が終わりましたら、入力完了ボタンをクリックしてください。
※オンデマンド研修をお申込みされる事業所の方は、受講代表者の方の氏名等を入力してください。
※受講回数は、事業所として「北海道高齢者虐待防止推進研修会【施設編】」および「北海道高齢者虐待防止推進研修会【在宅編】」に参加した回数を選択してください。
※受講申込が完了したらご登録いただいたメールアドレスあてに、申込確認メールが自動送信されます。

(2) 研修受付システム登録状況等に係るお問い合わせについて

研修受付システムへの登録状況や、研修受付システムにログインするためのIDやパスワードがご不明な場合は、本センターにメールでお問い合わせください。

<問合せ先メールアドレス: gyakutai_soudan@dosyakyo.or.jp>

1) メールを送る際の留意事項

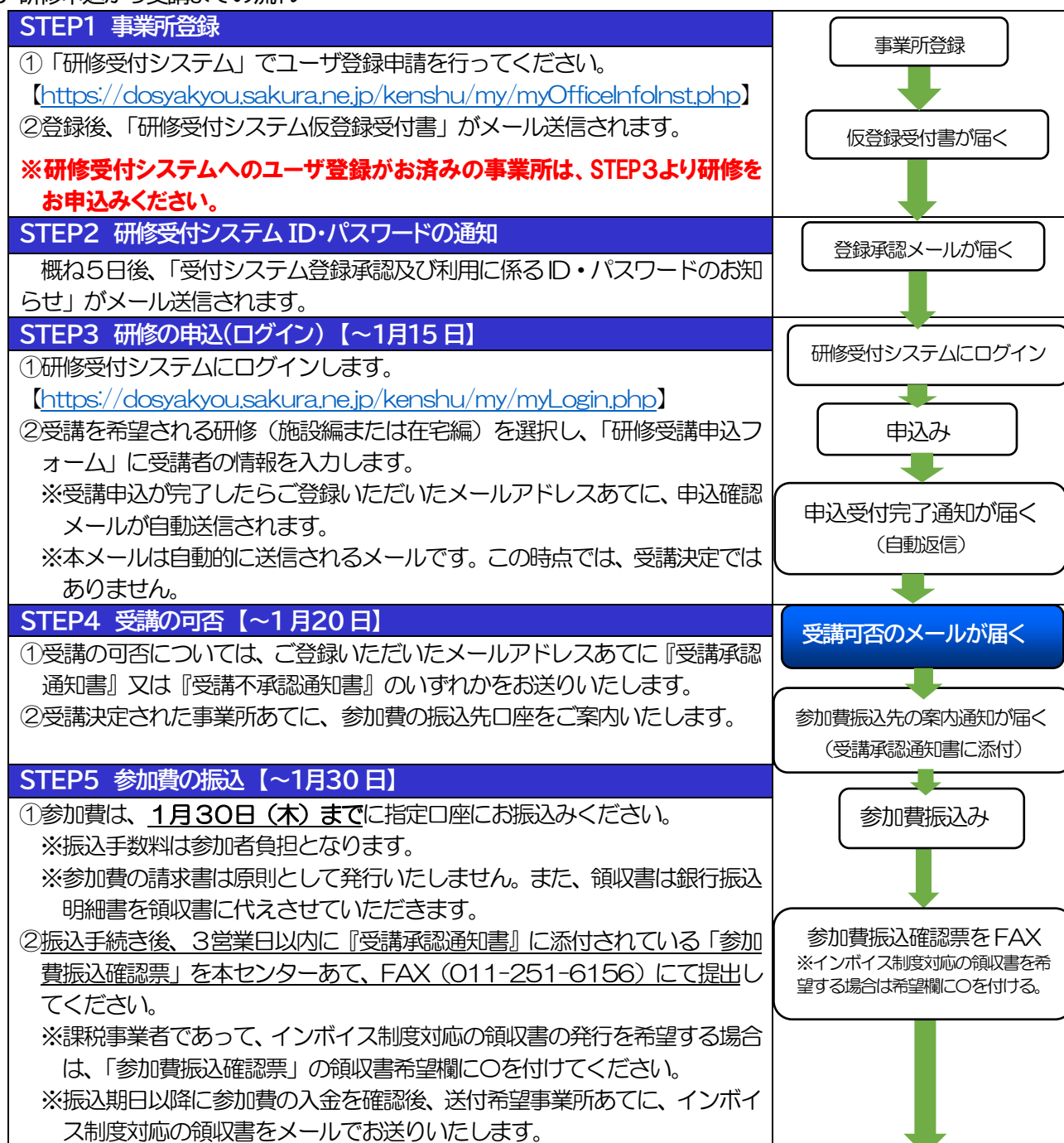
- ・メールのタイトルは、『【問合せ】 研修受付システムのID・パスワード』としてください。
- ・メール本文には次の情報を記載してください。

①事業所名、②法人名、③事業所がある市町村名、④申込担当者名・役職、⑤連絡先電話番号

2) 問合せメールへの回答について

- ・登録状況等を確認し、3営業日以内にご返信いたします。
- ・すでに登録があった場合は、メールにてIDとパスワードを通知し、未登録だった場合は、ユーザ登録申請をお願いさせていただきます。

13 研修申込から受講までの流れ



STEP6 ID・パスワードの通知【～2月7日】 配信開始日の3日前までに、ご登録いただいたメールアドレスあてに「研修用動画配信システム」へのログインIDとパスワードを通知します。	「研修用動画配信システム」へのログインID等の通知メールが届く 
STEP7 受講開始【2月10日～2月28日】 ①「研修用動画配信システム」から研修資料をダウンロードしてください。 ②研修の全講義の動画視聴後、受講アンケート（Google フォーム）に入力してください。	研修資料のダウンロード  受講アンケート入力・提出

14 オンデマンド研修を受講にあたっての留意事項（※以下、必ずお読みください。）

- （1）受講にあたっては動画を視聴できるパソコン等およびインターネット環境が必要です。
- （2）配信するコンテンツ（動画、教材その他）に関する著作権は、本センター及び講師に帰属します。
 ※本研修における教材、講師から配布する資料、動画および音声等にかかる権利は著作権法によって保護されており、配信する研修内容をコピーして他人に渡したり、インターネット等にアップロードしたり、その他目的以外に利用したりすることは、著作権法上禁止されていますので、ご注意ください。
- （3）受講環境の整備については、本センターでご相談を受けることができません。

15 個人情報の取扱い・その他

参加申込にあたり記載された個人情報は、本研修会の運営管理にのみ使用します。
 なお、本センターでは研修終了後の修了証書は発行しておりませんので、ご了承願います。

16 お問い合わせ先

社会福祉法人北海道社会福祉協議会 北海道高齢者虐待防止・相談支援センター（担当：佐藤）
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる 2.7 内
 TEL：011-241-3978 FAX：011-251-6156 e-mail：gyakutai_soudan@dosyakyo.or.jp

北海道高齢者虐待防止・相談支援センターホームページ

URL(研修会)

<https://gyakutai-soudan.net/workshop>



<ホームページ画面>

研修受付システム Q & A

研修受付システム取扱説明書：掲載ページ URL

http://www.dosyakyo.or.jp/kensyuujyo/uketsuke_system/date/user_manual_1_4_1402132.pdf

《ユーザ登録（事業所登録）について》

Q 1 ユーザ登録（事業所登録）はどのように行うのか？

A 1 上記に記載の URL から「研修受付システム取扱説明書」をダウンロードしていただき、P4～6 をご覧の上、ユーザ登録申請を行ってください。

ユーザ登録申請から完了（ID・パスワードの通知）まで、概ね5日程度要するため、余裕をもって申請してください。

Q 2 法人で複数の福祉施設・事業所がある場合、ユーザ登録（事業所登録）は1度のみで良いのか？

A 2 ユーザ登録（事業所登録）は、受講者の所属する福祉施設・事業所ごとに、行ってください。

Q 3 研修受付システムに登録されているか分かりません。

A 3 本センターにメールでお問い合わせください。登録状況等を確認し、3営業日以内にご回答いたします。

<問合せメールアドレス：gyakutai_soudan@dosyakyo.or.jp>

・メールのタイトルは、『【問合せ】研修受付システムのID・パスワード』としてください。

・メール本文には次の情報を記載してください。

①事業所名、②法人名、③事業所がある市町村名、④申込担当者名・役職、⑤連絡先電話番号

《研修の申込みについて》

Q 4 研修受付システムにログインするためのIDとパスワードが分かりません。

A 4 本センターにメールでお問い合わせください。登録状況等を確認し、3営業日以内にご回答いたします。

<問合せメールアドレス：gyakutai_soudan@dosyakyo.or.jp>

・メールのタイトルは、『【問合せ】研修受付システムのID・パスワード』としてください。

・メール本文には次の情報を記載してください。

①事業所名、②法人名、③事業所がある市町村名、④申込担当者名・役職、⑤連絡先電話番号

Q 5 同じ研修に複数名の申込みを行いたい場合、まとめて手続きすることはできるのか？

A 5 マイページトップの「研修受講申込・変更等」より、申込みを行う研修を選択してください。

その後「研修受講申込フォーム」より、おひとり分ずつ、受講者の情報を入力し、お申込みください。

「研修受講申込フォーム」の入力の詳細は、上記に記載の URL から「研修受付システム取扱説明書」をダウンロードしていただき、P14～15 をご覧ください。

Q 6 「研修受講申込フォーム」の「経験年数」には、現在の所属での経験年数を入力するのか？

A 6 社会福祉事業に従事した通算年数を入力してください。

Q 7 受講申込した内容の確認はどのように行うのか？

A 7 次のいずれかの方法で確認してください。

〔方法1〕申込みが完了すると、ご登録いただいたメールアドレスあてに、「研修受講申込の受付について」というタイトルのメールが自動配信されます。本メールの内容をご確認ください。

〔方法2〕マイページトップの「研修受講申込・変更等」より、申込みを行った研修を選択してください。その後「研修受講申込済一覧」より、「申込受付書」をダウンロードしてください。詳細は、上記に記載の URL から「研修受付システム取扱説明書」をダウンロードしていただき、P17～19 をご覧ください。

《研修の申込内容の変更／申込取消（キャンセル）について》

Q 8 申込内容の変更や申込取消（キャンセル）は、どのように行うのか？

A 8 マイページトップの「研修受講申込・変更等」より、申込内容の変更／申込取消（キャンセル）を行う研修を選択してください。

その後「研修受講申込済一覧」より、該当する受講者を選択（受講者氏名をクリック）し、「研修受講変更フォーム」より、申込内容の変更／申込取消（キャンセル）を行ってください。

詳細は、上記に記載の URL から「研修受付システム取扱説明書」をダウンロードしていただき、P22～25 をご覧ください。

《その他》

「受講者氏名（ふりがな）」と「受講者氏名（漢字）」を、逆に入力する誤りが多いため、お間違いのないよう、ご注意ください。上の欄がふりがな、下の欄が漢字（常用漢字）です。

優先順位	1
ふりがな	(姓) ふくし (名) たろう
受講者氏名	(姓) 福祉 (名) 太郎
現職名	介護職員

（「研修受講申込フォーム」の入力画面より抜粋）